

「令和2年度国際交流助成先」を追加募集

公益財団法人天田財団(神奈川県伊勢原市、理事長:末岡 慎弘)は、令和2年度 国際交流助成先の追加募集を10月1日(木)から開始します。助成総数は約24件、助成総額は約1,200万円の予定です。応募の締め切りは12月20日(日)です。

今回募集する助成の対象分野は、金属などの塑性を利用した加工(塑性加工)および高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工(レーザ加工)に必要な技術の研究開発とその関連技術に対する調査・研究を目的とした国際交流です。なお、前期助成決定分が予算総額に達しなかった為、後期として追加募集となりました。

申し込み方法は、当財団ウェブサイト(<https://www.amada-f.or.jp/>)に研究者登録後、各助成プログラムを選択のうえ、ご応募ください。

■ 助成概要

国際交流助成 (後期募集期間: 2020年10月1日 ~ 12月20日) 約1,200万円

NO.	助成プログラム名称	詳細	助成額 (万円)	募集件数 塑性・レーザ合算
I	国際会議等準備 および開催助成	国内で開催される権威ある機関、または団体が主催する国際会議等の準備および開催へ助成	30~50	2~4
II	第1回国際会議等準備 および開催助成	海外で開催実績があり、国内で初めて開催される権威ある機関、または団体が主催する国際会議等の準備および開催への助成(初回限定)	100~150	1
III	国際会議等参加 助成	海外で開催される権威ある機関、または団体が主催する国際会議等に参加し、運営の役割を担う者の旅費等に対する助成(ポスドク・院生同行1名可)	1名: 20~35 2名: 40~70	8~10 2~4
IV	国際会議等参加 助成 (若手研究者※)	海外で開催される権威ある機関、または団体が主催する国際会議等に参加し、発表等を行う若手研究者の旅費等に対する助成	20~35	2~4
V	国際シンポジウム等 準備および開催助成 (若手研究者※)	自らが中心的な役割を担い、3か国以上の研究者を招請して開催する小規模の研究交流会等への準備および開催への助成	80~100	1

※ 若手研究者: 2021年3月31日時点で満39歳以下、かつ当財団の研究開発助成受給の未経験者

以上

公益財団法人 天田財団について

1987年に株式会社アマダの創業者であり、当時同社社長の天田勇を設立代表者として、塑性加工機械に関する技術の向上を図り、広く金属加工業界および経済の発展に寄与することを目的に、財団法人天田金属加工機械技術振興財団が設立されました。2007年からは研究開発助成の対象を時代のニーズに合わせて、レーザープロセッシング分野へと拡大しました。2011年には公益認定を受け、公益財団法人天田財団へと名称を変更し、2019年には金属等の加工業に従事される方の人材育成と技能向上に有益な技能検定「工場板金」の受検手数料助成を公益目的事業に加え、現在に至っております。

報道関係お問い合わせ先

公益財団法人 天田財団 担当：佐藤
〒259-1116 神奈川県伊勢原市石田 350
TEL: 0463-96-3580 E-mail: m-sato@amada.co.jp